

# 天狗倉山まるごとプロジェクト

世界遺産の熊野古道馬越峠から一足伸ばして辿り着く天狗倉山は、標高522メートルの展望スポットです。南に青い尾鷲湾と尾鷲市街地、また北側には大台ヶ原と眺めは抜群で、全長37キロの尾鷲トレイルのルートの一部。その天狗倉山一帯にある「岩屋堂」や麓の魅力について、「天狗倉山まるごとプロジェクト」が保全と情報発信を行っています。



馬越峠整備に集まる※

## お問い合わせ

「天狗倉山まるごとプロジェクト」  
 (協同組合尾鷲観光物産協会内)  
 尾鷲市中井町12-14  
 TEL0597-23-8261  
 (事務局 梅谷 陽子さん)

江戸時代の『西国三十三所名所図会』にも登場する天狗倉山に、33体の観音石仏を祀る「岩屋堂」があります。昭和初期には毎月祭礼が行われていたようですが、次第に訪れる人も少なくなり、建物が老朽化していました。その「岩屋堂」を整備しようと立ち上がったのが「天狗倉山まるごとプロジェクト」です。事務局で協同組合尾鷲観光物産協会に勤める梅谷陽子さんにお話を伺いました。

——活動のきっかけと構成メンバーを教えてください。

梅谷：平成28(2016)年に尾鷲商工会議所女性部が発行した『魅せます尾鷲』の中で、「岩屋堂」が紹介されました。

なげてコースを設定し、またヨガや気功なども取り入れて、モニターツアーを実施しました。2年目にはそんな活動報告を市内で展示し、そういった活動費のためにバザー出店もしました。また、天狗倉山頂上にある方位盤は、約45年前に地元山岳愛好会が設置したのですが、長年の風雨にさらされ劣化していたので、多方面から協力を得て、一年掛けて修復しました。まずはサビを落とし、熊野古道や尾鷲トレイルなどのルートを測量し、三重大学の学生が運営するデザイン事務所「カゲムシャ」に山頂から見える山並みや尾鷲湾の島々の名称を描



意見交換の場を何度も開く※



モニターツアーを実施※



毎月18日は「岩屋堂」の日※



山頂の方位盤をリニューアル※



前列中央が梅谷 陽子さん※

協会に問い合わせも増え、荘厳な雰囲気を感じてくれる声もあったのですが、お堂の一部が傷み、ブルーシートに覆われていたのが残念で。補修しなければいけないと思っていたところ、「岩屋堂」を含む天狗倉山一帯での保全活動について、補助金申請が採択されました。保全だけでなく、魅力アップのために力になってほしいと、商工会議所女性部、まちおこしのNPO、製材所や大工さんと、いろいろなところに声を掛け、メンバーを募り、三重大学地域拠点サテライト・東紀州サテライトがファシリテーターとなって、現地勉強会や意見交換会を重ねていきました。

——「岩屋堂」をどうにかせねばと、たくさんの方が集まったのです。

いてもらいました。設置当日は、重さ12キロの方位盤を21人が交代で背負って山を登ったんです。今年に入ってからは、朝日百選の長楽院と世界遺産馬越峠を整備し、景観美化に取り組みました。

——昨年、尾鷲市で磐座信仰のシンポジウムがあり、「岩屋堂」に関心が寄せられましたね。

梅谷：「岩屋堂」を整備した後で、何よりタイミングがよかったのですが、天狗倉山の反対側の八鬼山でも別のチームの動きがあり、老朽化していた荒神堂が改修されました。天狗倉山と八鬼山一帯に古くから霊場が形成されていた可能

梅谷：巨岩の影に並ぶ石仏を囲う壁や引戸が、時間の経過によって朽ちたり凹んだりしていたため最初は修復を考えましたが、何年か経てばまた同じ悩みが出てくるという専門家の意見もあり、自然の姿に戻そうという方向性が定まりました。多くの方の協力を得て、自然物以外を撤去し、今の姿となりました。そして毎月18日を「岩屋堂」の日と定め、常聲寺の北澤副住職に読経をお願いし、お参りしていますが、その日はメンバー同志の情報交換の場にもなっています。

——ほかにどんな動きがありましたか。補助金の年度が終了しても、活動が続いているのです。

梅谷：初年度は点在するスポットをつながり、性があるとの話を聞き、地域の人が心を合わせる祈りの場として認識されたのではないかと思います。そんな思いを共有する地域団体と一緒に、「未来のおわせ向上計画実行委員会」を立ち上げ、歴史や文化など尾鷲に関する知識を問う、ご当地ぶち検定(2021年3月)を企画しました。それまでに講座やシンポジウムを開き、本番に向けて理解を深めてもらっています。

——地域のシンボルとなった信仰の場の人々が関心を寄せ、修復・保全の力やチを探り、郷土愛と祈りの心が受け継がれています。

インタビュー：中村元美